

しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.112

平成 29 年 9 月

「国道 274 号日勝峠、10 月末には開通予定」

昨年 8 月の爪痕がいかに大きかったのか・・・を物語る長期にわたる国道 274 日勝峠の通行止め。代替路措置はあったとはいえ、物流、生活、観光への影響も大きかったと思いますが、関係者の皆さんの懸命な復旧作業により開通目途を 10 月末までには・・・と発表されました。詳しくは北海道開発局HPにて確認を！



「知産志食しりべしローカルフードチャレンジ」大好評でした！

8 月 26 日～27 日の土日に開催された「知産志食しりべしローカルフードチャレンジ」ご来場の方々には屋外の食イベントのように思われていたと思いますが、中小企業庁の中小企業者への商品開発、販売促進を目的とした補助事業なのでした。本部からの開催状況精査の職員さんもいらしていましたが小樽はコンセプト通り開催され評価高いとのこと。開催内容について 2 年前の第 1 回の反省を生かし、肌寒くならない 8 月開催、夜間への時間延長など、より開催効果大となるよう実施されました。初日にはスコールのような雨のアクシデントもありましたが、概ね天候も良好で、来場者数も 4 万人を超えたとの報告です。後志管内事業者 40 の参加。来場者、審査員によるコンテストには 38 のオリジナル商品がエントリー。来場者によるアンケート採点による評価結果は最終日の夕方に発表されました（すでに全部知っているのですが、公式発表まで言えないの～



(☺) そのほか 6 名の審査員によって 12 月発表の「ローカルフードチャレンジ賞」が別途、厳正に審査されました。（この審査員に参加し、38 種全て、一口づつでも口にしたので、全てに感想が言えます！（これどうだった？と遠慮なくお聞きください！）

黒いリックが審査中の STS



おむつ替え、授乳室は良いですね。
ステーキ丼は連日、長蛇の列。

前回、受賞した商品、今は見ることもないように思います。せつかくの高評価を受け、受賞したのなら安定提供、認定制度など継続提供、情報を発信かな・・・と思います。

素材豊富な後志だからこそその開発アイデアの奥は深いと思いますが、それらを生み出すセンス必須。

平成 29 年度、今年の「しりべし i システム事業スタッフ研修会」は しりべし塾合宿とジョイント開催です！

平成29年10月26日(木)13:00～27日(金)13:00

時間(およそ)	講座・講師名等	内容	場所
13:00～	しりべし広域観光推進セミナー	(仮)メディアを活用した地域活性化について	振興局
15:00～	STS研修① 説明:STS	しりべしネットリニューアルについて	振興局
17:30～	STS研修② 講師:株式会社JTB北海道	外国人観光客の動向と求めているもの	真狩
	懇親会		
8:30～	地域映像制作ワークショップ in後志	映像制作の基礎知識 映像制作実践:講師解説	真狩

平成 15 年、後志のポータルサイトとして生まれた「しりべし i ネット」。時代はモバイル、SNSとIT技術、傾向の進化に合わせ、2回目の大リニューアルに取り組んでいます。15年近くにも及ぶ情報膨大もあり大変な作業ですが、リニューアルイメージ発表を研修会メニューと致しました。さらに、合宿地へ移動したのち、益々増加傾向の外国人の動向と心から求めている、感動する視点などを中心に観光マーケティング戦略のプロフェッショナルな方に講演をお願いしています。詳細については近日中に、STSより各市町村内のしりべし i システム事業担当者様、各 i センタースタッフ様へ文書を郵送いたします。また後志観光連盟さんからも文書発信があると思いますので、参加者のご検討よろしくお願いたします。Googleをはじめとした検索エンジンの高性能、様々な SNS ものが散らばって存在している中で、益々ポータルの情報発信ツールは情報集約の便利さ、使い勝手の良さは必須なのではないでしょうか？

まずは町の魅力、旬話題を町の人が発信あって、町のファン作りに繋がると思います。今年は魅力的な情報発信技についての実践や学習があります。実践する場合は、しりべし i ネットならば地域だよりでしょうし、自ら発信の SNS でも習得技を発揮できるのではないのでしょうか！

頼もしい助っ人！「Shiribeshi 酒 Ambassador」阿部 眞久氏

「酒と肴をテーマとした・・・」事業は Stage Secondo 2 へ進みました。ワインクラスター阿部氏を「Shiribeshi 酒 Ambassador」として認証。阿部氏の豊富な知識と見識を生かして頂くことで、テーマに新たな視点や取り組みが生まれると密やかに期待していました。早速、氏は後観連さんと 20 市町村を巡り、公開ヒアリングを実施。その報告を兼ねたWG会議に出席しました。面白かった～。

市町村関係者から出される「あるもの、採れるもの、獲れるもの」と後志のお酒とのマッチング公開ヒアリング。「蘭越にはフキのガリ漬」「仁木ではサクランボピクルスの試作中」「泊りのウニ殻焼」「あんこうのから揚げ」「赤井川のどぶろくのサイダー割」「古平の船上メたらこ」「京極のじゃが芋羊羹」「島牧の水たこ」「黒松内のおやどり」地域から続々出てくる日常の食に、これと合う！のお酒話。日本ソムリエ協会が認めるシニアソムリエの絶対味覚的な舌と、豊かな表現力あつての有意義な公開ヒアリングであったのだろうと想像されます。公共機関を使ったルート提案、冊子化もされるようですが、まずは新鮮!と思えたマッチング話を情報発信できればな～と思います。

市町村関係者から出される「あるもの、採れるもの、獲れるもの」と後志のお酒とのマッチング公開ヒアリング。「蘭越にはフキのガリ漬」「仁木ではサクランボピクルスの試作中」「泊りのウニ殻焼」「あんこうのから揚げ」「赤井川のどぶろくのサイダー割」「古平の船上メたらこ」「京極のじゃが芋羊羹」「島牧の水たこ」「黒松内のおやどり」地域から続々出てくる日常の食に、これと合う！のお酒話。日本ソムリエ協会が認めるシニアソムリエの絶対味覚的な舌と、豊かな表現力あつての有意義な公開ヒアリングであったのだろうと想像されます。公共機関を使ったルート提案、冊子化もされるようですが、まずは新鮮!と思えたマッチング話を情報発信できればな～と思います。

